

ASUKU ASK



10

2024

No.431



ひだまり館 オープニングセレモニー

7/24



▶乾杯の挨拶
王隠堂さん



▲つむぎのおかメンバー紹介



▲中野理事長、つむぎのおか本田さん、コープあいち見山さんによるテープカット



▲当日限定ワンコインランチ



▲来場記念品(御赤飯)

ひだまり館のオープニングセレモニーが行われました。「岡崎げんき館」でコーミ生産者交流会の後、徒歩2分の「ひだまり館」へ。中野理事長や来賓挨拶、居場所事業の一環としてコミュニティカフェも運営するワーカーズコレクティブ「つむぎのおか」メンバー紹介のあと、テープカット。1Fのカフェはあっという間に

満席、野菜やパンを売るコーナーもあり、たいそうな人だかり。2Fでは炊き込みご飯の試食、3Fはワークショップ体験で子どもたちがキーホルダー作りを楽しみました。地域の人も多数訪れ、大盛況の一日でした。

ひだまり館の今後の活動はInstagramを見てくださいね!

contents

P1 ひだまり館オープニングセレモニー

P2 トマトの収穫応援に行ってきました

P3 スwitchングで
でんきの生産者を応援しよう

P4 親子で参加しました!
エリア夏休み企画

トマトの収穫応援に行ってきました

7/13

コーミの自社農場（豊橋市）で加工用トマトの収穫体験をしました。（広報委員 石原）

トマトの収穫は炎天下の重労働

指導役のコーミの林さんからまず教わったのは、トマトを収穫する時のポイント。色（完熟度）、虫食いや病気がないなど「このまま生で食べても大丈夫」と思えるものを一つ一つ選びます。

難しくない作業に思いましたが、加工用トマトは無支柱栽培で、実の重みで枝がうねるように地面を這っています。枝や葉をよけながら腰をかがめて完熟トマトを探す作業は、想像以上に大変でした。

テントや日陰で休憩を取りながら、無事に15人で15ケース225キロのトマトを収穫できました。

「生活と自治」8月号のものづくり最前線でも生産者が取り上げられています。WEB版でも見られます。

加工用トマト発祥の地

午後は交流会場で学習会。生活クラブのトマトケチャップのこだわりは①新鮮な完熟国産トマトのピューレを使う②化学調味料を入れない③Rピンに詰める。他にはないこのケチャップの大切さを改めて感じました。加工用トマトの一大産地だった愛知も生産者が激減。近年は温暖化の影響で栽培が困難になりつつあるうえ、収穫時の人手不足が深刻



▲黙々と収穫した後、みんな笑顔

です。しかしコーミ社長の川澄さんからは、発祥地である愛知での栽培を守りながら、人手不足を補う新しい仕組み作り挑戦したいと熱いメッセージ。私たち組合員も食べる、学習する、体験してみる、からもう一歩踏み出して援農を考える時かもしれません。

※援農のこと

作物はいつに熟するため、収穫期には短期間にたくさんの人手が必要です。そこで、組合員有志が産地に出向き、作業をするのが援農。ボランティアではなく、労働力として日当が支給されます。



▲コーミ株調達部 林康弘さん 愛知の加工用トマトの担い手を組合員にも広げたい!



▲ほくもこんなに採ったよ!



こなこと やってます 名古屋東エリア

7月12日、名古屋センターで牛乳生産者交流会を開催。新生酪農(株)の塚田さんが実験を交えて生活クラブのパスチャライズド牛乳について話しました。細菌数の少ないきれいな牛乳であること、高温だと壊れてしまう栄養素もちゃんと残っていることなどを学びました。

学習会後はスタッフがミルクピラフを調理実演、牛乳の飲み比べや各種アイスクリームの試食も。

消費材には牛乳以外にもアイ

スクリーム、ヨーグルト、バター、チーズなどの乳製品があります。牛乳が苦手な方はこれらの乳製品を利用してみましょう。



▲安曇野工場の工場長 塚田裕幸さん

▶各種牛乳やいろいろな乳製品が並びました



トピックス

レスキューストックヤード主催の能登半島被災地応援企画に愛知の3生協が協賛し、被災した子どもたちを励まそうと、夏休みに穴水町の小学生約70人を招いて名古屋交流ツアーが開催されました。生活クラブからは東別院での歓迎夕食会に理事・職員6人がお手伝いで参加しました。まだまだ水の使えない地域も多く残っているとのこと。お腹いっぱいになって広い境内で走り回って遊んでいる子どもたちを見ながら、継続的な支援が必要であると強く感じました。(理事長 中野京子)

スイッチングで

でんきの生産者を応援しよう



でんきも消費材の1つです

電気はどここの電力会社から買って
も品質は同じ。でも、その中身には
大きな違いがあります。

生活クラブでんきは、私たちが口
にする食べ物と同じく、国内で自給
できる原料からつくられています。自然
エネルギーを活用するので身近な
地域で小規模な発電所を造ることが
できます。そこには電気をつくる生
産者がうまれ、その電気を私たちが
使うことで地域の活性化へとつな
がっています。

庄内・遊佐 太陽光発電所 (山形県庄内地方)

売電益の一部を基金化し、地域の農業や移住事業に活用している

風車「夢風」発電所 (秋田県にかほ市)

風車の建設と電気の供給をきっかけに、地域産品の共同購入や各種交流を実施している

田んぼ電気プロジェクト 音羽米発電所 (愛知県豊川市)

「音羽米」の生産者の田んぼの畔を活用するソーラーシェアリングで太陽光発電をしている

生活クラブでんきのユニークな発電所たち

阿寒マイクログリッド 発電所

(北海道釧路市)
酪農場内にある発電所で酪農の廃棄物から発電している

さがみこファーム (神奈川県相模原市)

太陽光パネルの下でブルーベリーを栽培
2024年、東京・神奈川の生活クラブの寄附で新発電施設「SO・LA・MI♪」を建設した

生活クラブでんきは再エネ調達率92%

提携する71ヶ所の発電所よりお届けします

- *利用者還元割戻し(還元率0.14%-3年連続)を実施
- *時間帯別プラン・再エネ100%プランもあります



生活クラブでんきにすると
電気料金は高くなるの？



電気料金は
中部電力と
ほぼ同じです。

料金シミュレーションは
こちらから ⇒ 



再エネのでんきは
どうやって送られてくるの？



送電線が変わるわけではないので
今までと何も変わりません。料金の
支払い先が変わるだけです。



電気料金が高騰することはないの？



生活クラブでんきは、大手電力会社から
電力を調達しているわけではなく、再エネ
を利用した発電所からの電力を送電してい
るので料金が高騰することはありません。

花縁便

実はコレという趣味が無い。スキー、テニスはどうに過去形だ。ボウリングは介護が始まりボールもシューズも放棄した。調理は好きだが極めてはいない。続いているのは？結婚生活(笑)と生活クラブである▼鮮度の良い卵が欲しくて生活クラブに加入した。焼き菓子や卵料理が上手になったような気がした。豚肉の美味しさを知り、素材が良ければシンプルな調理で良い事を知った。冷凍冷蔵の消費材が増え、お気に入りも増えていった▼栽培方法や製造過程を学び現地へも出向いた。台風や雨や日照りに気をもむようになった。環境や行政や生産者の暮らしに思いを巡らすこととなる。美味しい物を守るうとする、社会問題を直視せざる得なくなった▼加入しておよそ30年、生活クラブは共助の時代を見据えて「まちづくり」を進めていこうとしている。我が家はルビィ婚年金生活夫婦となった。地域での居場所づくりが課題である。パン生地をこねこねしながら、あれこれ策を練りたい。

(理事 伊藤香)

8月事業報告

組合員数	加入	脱退
10,994人	47人	-78人
出資金	1人当り出資金	
1,330,414 千円	121,012 円	
供給高	1人当り供給高	
273,228 千円	26,109 円	

▼共済加入件数

ハグくみ	CO・OP共済	エコ共済
1,331 件	4,847 件	8,516 件

生活クラブでんき契約者

累計441件(8月)
再エネ100%プラン 21件
時間帯別プラン 11件

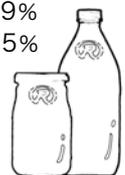
今月のリユース率

ビン 回収率(8月)
900mlびん…75.9%
500mlびん…67.9%
Rびん全体 …72.5%



生活クラブ
でんき

グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle



親子で参加しました! エリア夏休み企画



▲幼稚園児や小学生や
働くママなど、親子5組が参加。

7月26日 名古屋南エリア
みんなでキッチンinあつたひろば
親子や世代の異なる組合員の交流で
ライスバーガー作りを楽しみました



8月16日 豊橋エリア
組合員講座 結(Yui)第3弾
「親子でデザート作り
～フルーツ白玉アイス」
親子4組 計10人参加
※組合員が講師を務める講座です



8月19日 フルーツバスケットエリア
なつやすみ親子ラボ
子ども14人 大人18人(内未加入3)
食品添加物実験「ジュース?作り2種」
「羊毛染め」、石けんデコパージュの
ワークショップを行いました。アイスの
販売もしましたよ♪

7月29日 おかぎエリア
「洗剤ってナニ?」
親子6組13人参加



▲石けんと合成洗剤の違いを実験を通して
学びました

8月21日 けやきエリア
バイオサポ子どもラボ
チーム食サポメンバーによる
添加物実験講座



▲子ども11人、大人6人が参加。
砂糖、クエン酸、着色料、香料を混ぜて
ジュース?のようなものを作っています

information

- 秋の展示会
10/19(土)、20(日)
10:00～16:00
豊田センター
- 再エネ省エネフェア
11/11(月)
11:00～14:00
名古屋センター
- 生活クラブフェスティバル(仮)
11/14(木)11/15(金)
吹上ホール(展望ホール)
※秋の仲間づくりイベント♪

理事会報告

第3回定例理事会報告
8/29理事監事17名

- ◆討議・討議決定事項
 - ・尾張旭生活クラブ館基本構想の決定と今後の進め方討議
 - ・2024年度リフレッシュツアー実行方針について他
- ◆報告承認・報告確認事項
 - ・2024年度拡大予備費の拠出について
 - ・ウェルカムセットを活用した新規加入者の利用定着
 - ・ひだまり館リニューアルオープニングセレモニー実施報告他

編集後記

- ひだまり館のオープニングに行きました。みかんジュースで乾杯!子どもたちもたくさん来ていました。ワークショップは楽しかったかな? (N)
- 配達便で出せない個人情報の付いた紙類。名古屋市では紙製容器包装と一緒に出せるようになったが、出した後どうなるか気になる。(小)
- 私が子どもだった頃、家にはエアコンがなかった。それでも夏は何とか過ごせた。でも今は必需品になってしまった。(春)